

— 自然災害による死者の約6割 —

土砂災害に弱い国土

られています。このため、梅
 雨どきや台風シーズンには、
 大量の土砂が水と一緒に溪流
 へ流れていきます。また、長門市では昭和55年
 8月末に発生した土砂災害で
 2人が亡くなっています。

生し、一瞬のうちに人家を襲うため、ほかの災害と比べ、多数の犠牲者を出すことが少なくありません。

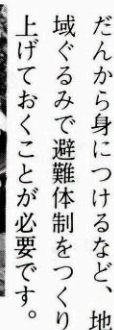
近年では、死者・行方不明者299人を出した昭和57年7月

「災害は忘れたところにやってくる」といわれますが、ふだんから地域住民が災害に対す

避難体制の確立を

「災害は忘れたころにやっ

る知識を深め、防災意識を高めることで、いざという場合に被害を少なくすることができるものです。そのためには豪雨や台風の気象情報に注意するとともに、避難場所はどこか、そしてどうやって避難するかといった防災知識をふ



▲ 5 / 20 災害危険か所パトロール

かけ崩れ危険か所